

RAL-24192DM1

ユーザズマニュアル 接続編

2012年6月 第1.0版

本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本紙をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社 RATOC Systems, Inc.

- 本紙の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
- 本紙の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万が一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
- 本紙の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 本紙の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
- 本紙の内容は、将来予告なく変更する場合があります。
- “RAL”はRATOC Systems, Inc.の日本、米国における登録商標です。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple, Mac, Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本紙に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本紙では、TM、®マークは明記していません。

安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

誤った取り扱いで生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」に区分し説明しています。

警告 「人が死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。

注意 「人が負傷または物的損害が発生する可能性がある」内容を示しています。

絵表示について

△ 記号は、行為を「注意する」内容を示しています。

○ 記号は、行為を「禁止する」内容を示しています。

● 記号は、行為を「必ずする」内容を示しています。

警告

異常が起きた場合は電源プラグを抜く、故障したまま使用しない。

- 煙が出る、異臭や異音がある。
- 内部に水や金属が入ってしまった。
- そのまま使用すると、火災・感電の原因。
- 接続ケーブル類を全て外し、速やかに弊社サポートセンターへ連絡を。

電源プラグに関する注意事項。

- ◆異なる電源電圧で使用しない。
- 本製品は日本国内(交流100V)専用。指定外の電源電圧で使用しない。火災や感電、故障の原因。

火の中に投入しない、過熱しない。

- 廃棄の際は自治体の条例に従う。
- 火災・発火・破裂の原因。

分解、改造をしない。

- 火災・感電・破裂・ケガの原因。
- 点検/修理は、弊社サポートセンターもしくは販売店へ。

音楽再生に関する注意事項。

- ◆大音量で長時間聞かない。
- 聴力に悪影響を及ぼす原因。

雷が鳴り始めたら電源プラグに触れない。

- 感電の原因。
- 接触禁止

警告

電源のコード・プラグを傷つけない、掃除する。

- ◆電源のコードを傷つけない。
- 電源のコードを束ねたままで使用したり、釘などで固定しない。
- 電源のコードは、ものを上に置いたり、敷物や家具の下に設置したり、布で覆わない。
- 引き抜くときは電源コードではなく、必ず差込プラグをもって引き抜く。
- 電源のコードを熱器具に近づけない。
- 火災・感電・断線・故障の原因。

電源プラグを定期的に掃除する。

- 電源プラグに埃などが付着していると、湿気などで絶縁が悪くなる。
- 火災や感電の原因。

汚れたときは、電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭く。

- 汚れや埃は、柔らかい布で乾拭きをする。
- ひどい汚れは、中性洗剤を薄めた水に、柔らかい布を浸し、強く絞ってから汚れを拭き取り、別の乾いた柔らかい布で、乾拭きをする。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使わない。
- 変色や故障の原因。

同梱物に関する注意事項。

- 同梱のポリ袋は幼児の手の届かない所に置く。
- また、火のそばに置かない。

以下のような場所で保管、使用しない。

- ◆水蒸気や水のかかる場所に置かない、本製品の上に液体の入った容器を置かない。
 - 風呂、シャワー室など湿度の高い場所に置かない。
 - 水をかけたり、ぬらしたりしない。
 - 調理台や加湿器のそばには置かない。
 - 雨天、降雪、海岸、水辺で使用しない。
 - 本製品の上に花びんやコップ、ろうそくなどを置かない。
 - 火災・感電・故障の原因。
- ◆不安定な場所に置かない。
 - 強度の足りないぐらついたり傾いたところ、振動する場所に置かない。
 - 高所に設置する場合、固定しないまま使用しない。
 - 落下、転倒し、ケガや事故の原因。
- ◆チリ、ホコリ、静電気、磁気、腐食性ガスのある場所に置かない。
 - 塵や埃の多い場所に置かない。
 - 静電気や磁気の影響が強い場所に置かない。
 - 腐食性ガス雰囲気中(CL2、H2S、NH3、SO2、NOx他)の場所に置かない。
 - 火災・発火・感電・故障の原因。
- ◆直射日光や高温になる場所に置かない。
 - 高温、温度差の激しい場所に置かない。
 - 直射日光を避け、60℃以上になるような場所に置かない。
 - 発熱体の近くに置かない。
 - 火災・発火・破裂・故障の原因。

注意

設置、接続に関する注意事項。

- ◆人が通る場所に配線しない。
 - つますいて転倒、接続機器の落下など、けがや事故の原因。
- ◆落としたり、衝撃を与えない。
 - 強い衝撃を与えない。
 - 無理に曲げない。
 - 落とさない。
 - 傷つけない。
 - 上に重いものを乗せない。
 - 火災や故障の原因。
- ◆関連機器の接続はその機器の取扱説明書に従う。
 - 誤った接続、指定以外のコードの使用などをする、予期せぬトラブルが発生する恐れ。
- ◆接続する端子を間違えない。
 - 接続する端子を間違えると、端子から発煙したり火災・故障の原因。

電源プラグに関する注意事項。

- ◆電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
 - 差し込みが不完全のまま使用すると発熱やホコリの付着による、火災・感電の原因。
- ◆長時間使用しないとき、お手入れするときは電源プラグを抜く。
 - 旅行などで長時間使用しないとき、絶縁劣化やろう電などにより火災の原因。
 - お手入れをするとき、感電の原因。
- ◆ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 感電の原因。

移動時の注意事項。

- ◆移動時は電源プラグや接続ケーブルを外す。
 - ケーブルが傷つき火災や感電の原因。
- ◆本製品の上にものを乗せたまま移動しない。
 - 本製品の上にものを乗せたまま移動しない。落下や転倒で、ケガの原因。

本製品は一般オフィスや家庭のOA機器ないしホビー用途の製品として設計されています。

- 一般製品より高い信頼性が要求または、医療機器のような極めて高い安全が要求される用途に使用しないでください。
 - 医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用をしないでください。
- 本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

1 はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。
本紙は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本紙をよくお読みください。また、お読みになった後も本紙は大切に保管してください。

1-1. 対応機器

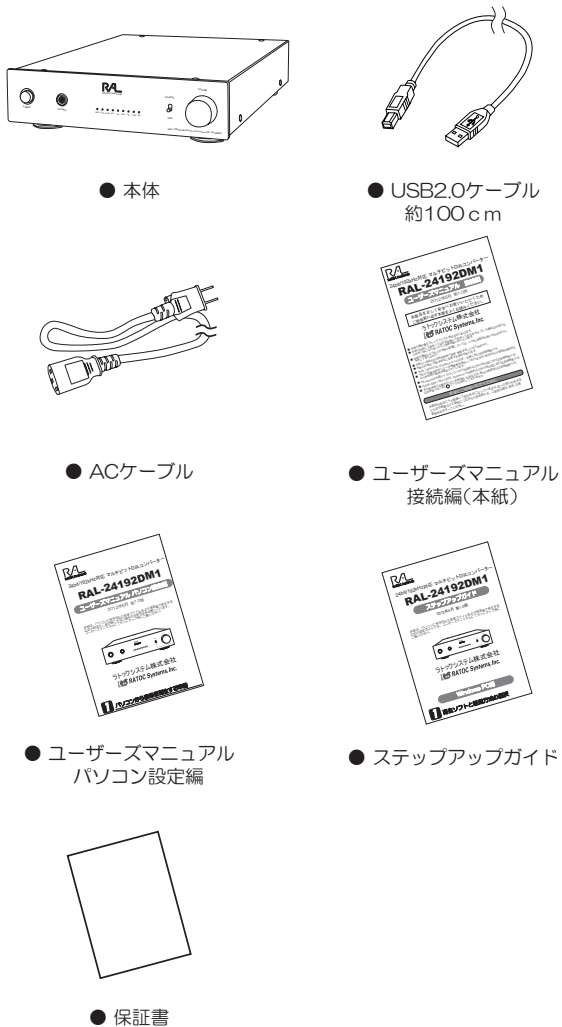
- 〈入力〉
 対応オーディオ機器：同軸デジタル出力端子を搭載したオーディオ機器（CDプレイヤーなど）
 対応パソコン：USB2.0ポート(High-Speed/480Mbps)を搭載したWindows PCまたはMac
 対応OS：Windows 7/Vista/XP (32ビット・64ビット両対応)

- 〈出力〉
 対応オーディオ機器：**●**バランス(XLR)またはアンバランス(RCA)アナログ入力端子を搭載したオーディオ機器
●標準プラグまたは3.5ミニ⇒標準変換プラグを搭載したステレオヘッドホン

— 使用できるヘッドホン —
 入力端子：標準プラグ、または3.5ミニ⇒標準変換プラグを搭載したヘッドホン。
 対応インピーダンス：16Ω~600Ωのインピーダンス特性に準じたヘッドホン。

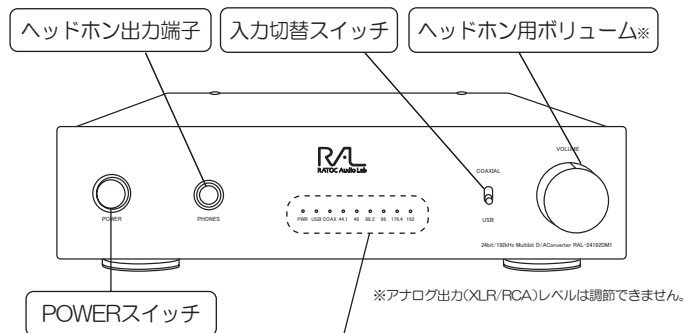
1-2. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



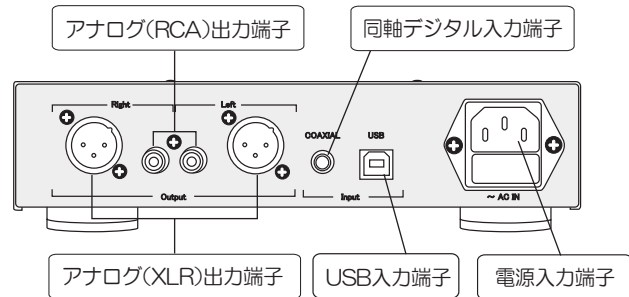
1-3. 各部の名称

前面



LED
 PWR・・・電源ONで点灯します。
 USB・・・USBオーディオストリームを受信すると点灯します。
 COAX・・・入力がCOAXIALに選択されているときに点灯します。
 サンプルレート表示(44.1/48/88.2/96/176.4/192)
●再生中の音楽のサンプルレートに従って点灯します。
 ※USB接続時は停止している場合でも、パソコンからミュート信号が送られている場合、そのまま点灯し続けます。
 COAXIAL接続の場合、最後に再生されたサンプルレートに従って点灯し続けます。

背面



バランス出力の極性について

 ①GND ※バランスケーブルで接続する場合、接続する機器の極性をご確認ください。
 ②HOT ③にHOTのコネクタを接続した場合、位相が反転し、本来の音質を再現できません。
 ③COLD

👉 バランス出力のコネクタを接続する/取り外す場合は、以下をご参照ください。
 【ケーブルを接続する】
 “カチッ”と音が鳴るまで押し込みます。

 【ケーブルを取り外す】
 コネクタのボタンを押しながら、取り外します。

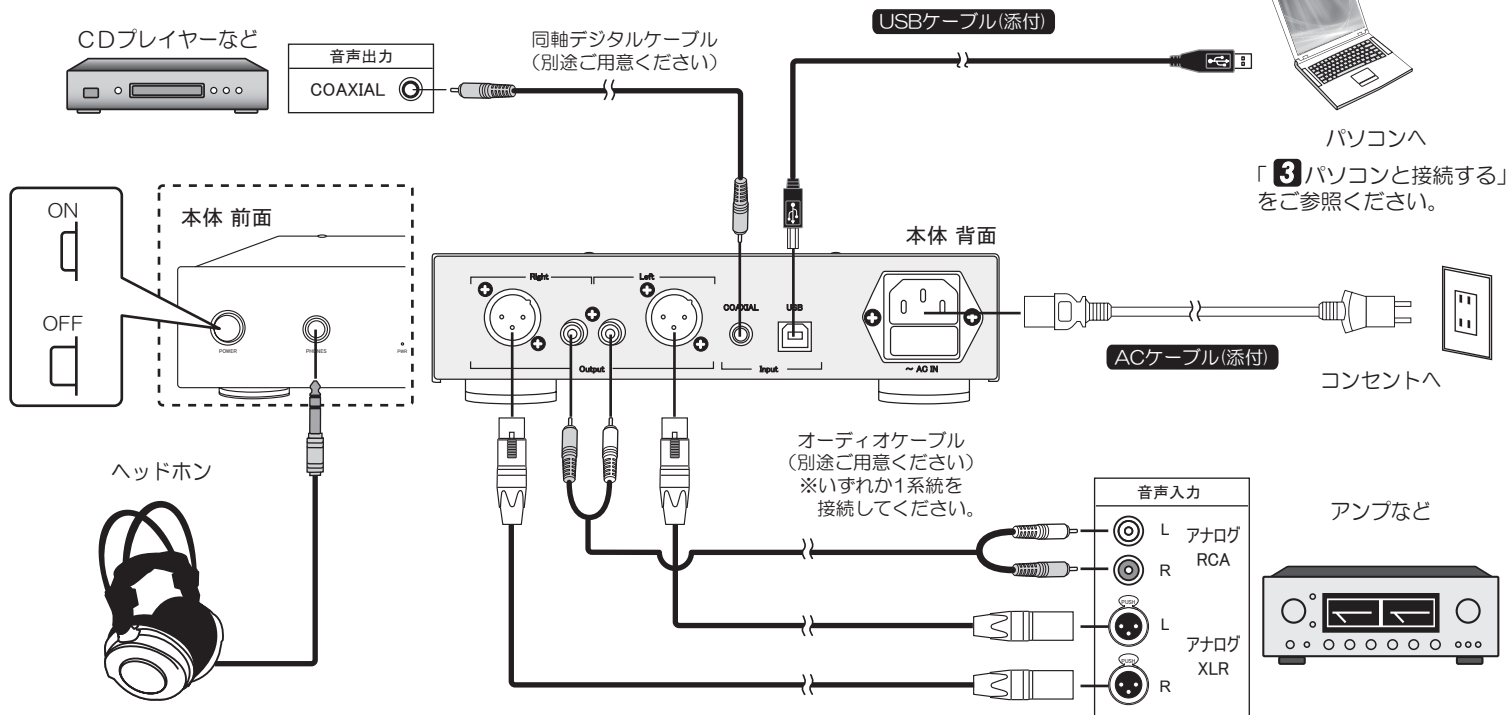
1-4. 使用上の注意

- ヘッドホン装着前に、ボリュームが大きくなっていないかご確認ください。
- パソコンへの音楽や音声の入力はできません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

裏面に続く

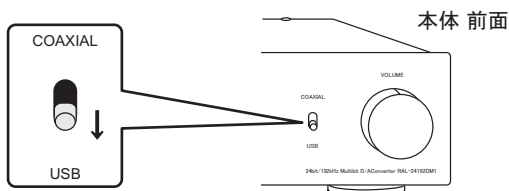
2 オーディオ機器と接続する

下図を参照に各種ケーブルを接続してください。
全ての接続が終わってから、本体電源をONにしてください。



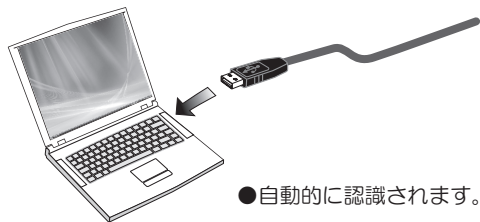
3 パソコンと接続する (セットアップ)

1. 本体前面の入力切替スイッチをUSBに合わせます。



2. パソコンにUSBケーブルを接続します。

※パソコンの電源はONのまま、USBケーブルを接続します。



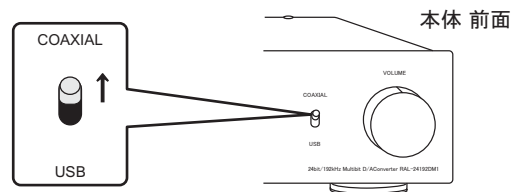
●自動的に認識されます。

以上でパソコンのセットアップは完了です。引き続き、別紙:
ユーザーズマニュアル パソコン設定編を併せてお読みください。

4 デジタル機器からの音声信号を再生する

4-1. 音楽を再生する

1. 本体前面の入力切替スイッチをCOAXIALに合わせます。



2. 接続したオーディオ機器を再生し、音が聞こえるか確認します。

音楽を再生すると、自動的にサンプルレート表示LEDが点灯します。
(ビットレート・サンプルレートなどデジタル出力の設定変更は、
プレイヤーのマニュアルをご参照ください。)

4-2. 音が聞こえないときは

本体の入力切替スイッチがS/PDIFに設定
されていますか？



正しく設定されている。

プレイヤーの出力設定をご確認ください。
本製品はリニアPCM(2ch)の入力のみ対応
しています。プレイヤーの出力がマルチチャ
ンネル設定の場合、リニアPCMに変更して
ください。

⇒デジタル出力が正しく設定
されているときは・・・
サポートセンターへご連絡ください。
修理が必要になる可能性があります。

5 オプション品

オプション品のご注文は、ラトックプレミア 楽天市場店にて承ります。
<http://www.rakuten.co.jp/ratoc/>



品名 : オーディオ用インシュレーター
 型番 : RP-HC1050B
 サイズ : 厚さ10mm 直径50mm

6 お問い合わせ

6-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。
 なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
 TEL : 06-6633-0180
 FAX: 06-6633-8285 (FAXは24時間受付)
 営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
 土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
 またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。
<http://www.ratocsystems.com/>

6-2. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本紙を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。
 なお、修理は部品修理ではなく全交換修理となる場合がありますことをご了承ください。修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉
 ラトックシステム株式会社 修理センター
 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
 TEL: 06-6633-0180

〈送付頂くもの〉
 ・本製品の保証書の原本
 ・製品
 ・質問用紙 (本紙巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。)

〈送付方法〉
 宅配便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
 弊社への修理品の送料は、送り主様がご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
 輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉
 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内
<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

7 一般仕様

型番	RAL-24192DM1
名称	24bit/192kHz対応 マルチビットD/Aコンバーター
入力端子	USB-Series B (標準)、デジタル入力 (S/PDIF 同軸)
対応パソコン	USB2.0ポート (High-Speed/480Mbps) を搭載した Windows PC または Mac
対応OS	Windows 7/Vista/XP 32ビット・64ビット両対応。 Mac OS X 10.6以降 ※176.4kHzのサンプリングレートデータはAudio MIDI設定で32bit整数に設定し、再生してください。
対応オーディオ機器	S/PDIF 同軸出力を搭載したオーディオ機器 ※DVDプレーヤーなどマルチチャンネル出力に対応した機器を接続する場合、デジタル出力の設定をリアPCM (2ch) に変更してください。
対応オーディオ入力フォーマット	USB入力: USB Audio Class 1.0準拠 (High-Speed【480Mbps】モード必須) デジタル入力: S/PDIF 同軸 L-PCM 24bit/16bit・192kHz/176.4kHz/96kHz/88.2kHz/48kHz/44.1kHz (2ch)
出力端子	アナログ出力 XLR×1 RCA×1 ヘッドホン出力 (ステレオ標準ジャック) ×1
対応オーディオ機器	バランス (XLR) またはアンバランス (RCA) アナログ入力を搭載したオーディオ機器 標準プラグを付したステレオヘッドホン (16~600Ω)
周波数特性 (理論値)	DC~90kHz (192kHz動作時) 10Hz~40kHz (96kHz動作時) 20Hz~20kHz (44.1kHz動作時)
定格出力	アナログ出力 2Vrms (RCA) ヘッドホン出力 約15.3mW×2ch (32Ω負荷時)
電源電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力	最大11W
動作環境	温度: 0~55℃、湿度: 20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法/重量	215 (W) × 276 (D) × 60 (H) mm (突起部含まず) / 約2kg
製品内容	本体、USB2.0ケーブル (約100cm)、ACケーブル (3Pプラグ、3Pインレットプラグ付)、ユーザーズマニュアル (接続編/パソコン設定編)、ステップアップガイド、保証書
保証期間	1年間

※ヘッドホン使用時は、ボリュームが大きくなっていないかご確認ください。
 ※USB1.1ポート (Full-Speed/12Mbps) に接続した場合、ご使用になれません。
 ※COAXIAL接続をご利用される場合、75Ωの同軸デジタルケーブルをご使用ください。
 ※本製品は国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
 ※本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
 ※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
 ※本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

RAL-24192DM1 質問用紙

(第1.0版)

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛 **FAX: 06-6633-8285**
 お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	RAL-24192DM1	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名	型番
使用OS	Windows	<input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> Vista <input type="checkbox"/> XP <input type="checkbox"/> 64ビット版
	Mac	<input type="checkbox"/> Mac OS X (Ver)
オーディオ機器	入力側	メーカー名 型番
	出力側	メーカー名 型番

質問内容	
添付資料	

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

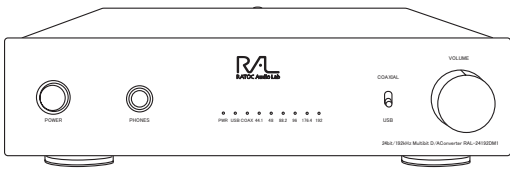
24bit/192kHz対応 マルチビットD/Aコンバーター

RAL-24192DM1

ユーザズマニュアル パソコン設定編

2012年6月 第1.0版

本紙は、パソコンに保存された音楽ファイルを再生するための設定と、音が聞こえない場合の対処方法を記載しています。ユーザズマニュアルにてセットアップ後にご覧ください。



ラトックシステム株式会社
RATOC Systems, Inc.

1 パソコンから音楽を再生する準備

パソコンで音楽を再生するため、下記の準備をおこなってください。

- 音楽再生ソフトのインストール
(通常、Windows PCにはWindows Media Player、MacにはiTunesが購入時よりインストールされています。)
- CD読み込み(リッピング)ソフトのインストール
(Windows Media Player、iTunesには、この機能が搭載されています。)
- CD読み込み(リッピング)ソフトでリッピングした音楽データ、またはインターネットで購入した音楽データなど

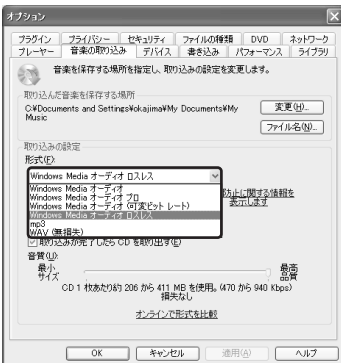
パソコンでのリッピングについて ①

音楽CDを読み込む(リッピング)ときは、高音質での保存をおすすめします。ご使用になるソフトにより異なりますが、選択できるファイルが多数存在します。下記の例を参考にCDをパソコンにリッピングしてください。詳しくは、リッピングソフトのマニュアルをご参照ください。

●読み込み設定画面例 【Windowsの場合】

【Windows Media Player: 取り込み設定】

【ツール】→【オプション】→【音楽の取り込み】タグの“取り込みの設定”からファイル形式を選択します。



【iTunes: 読み込み設定】

【編集】→【設定】→【一般】タグの“インポート設定”をクリックし、インポート方法からファイル形式を選択します。



パソコンでのリッピングについて ②

下記は音楽CDを読み込む(リッピング)ときのファイル形式と圧縮方式についての概要です。CDをパソコンにリッピングする際にご参照ください。

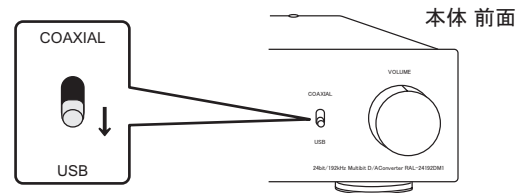
ファイル形式	ビットレート	圧縮方式	ファイルサイズ(約)	用途備考
音楽CD(リニアPCM)	1411.2kbps	—	10MB/分	—
WAV(リニアPCM)	1411.2kbps	非圧縮	10MB/分	音楽CDのままリッピング
AIFF	1411.2kbps	非圧縮	10MB/分	音楽CDのままリッピング
Appleロスレス	700kbps程度	可逆	5MB/分	音楽CDと同等の音質
AAC	128kbps	非可逆	1MB/分	音楽CDに近い音質で圧縮
MP3	192kbps	非可逆	1.4MB/分	音楽CDに近い音質で圧縮
	160kbps		1.2MB/分	
	128kbps		1MB/分	携帯メモリープレーヤー用
	64kbps		0.45MB/分	会話の生録音

○非可逆方式のMP3とAACは、人の聴覚に影響しない成分を削除しファイルサイズを縮小。音は劣化する。なお、ビットレートが小さいほど音質は低くなる。ビットレートが同じであれば「ACCエンコード」の方がやや高音質。
○可逆圧縮方式のAppleロスレスは、圧縮してファイルサイズを縮小するが、音の成分は削らず音質はCDと同等。可逆といわれる所以はいつでも音楽CDに形式を戻すことができるということ。

2 パソコンからの音声信号を再生する

別紙：ユーザズマニュアル 接続編「3 パソコンを接続する」の手順でケーブル類を接続後に、以下の手順で再生します。

1. パソコンを起動します。
2. 本体のPOWERボタンを押して電源をONにします。
3. 本体前面の入力切替スイッチがUSBに設定されていることを確認します。



4. お好みの音楽再生ソフトを起動し、音楽を再生してください。

3 パソコンの設定を確認する

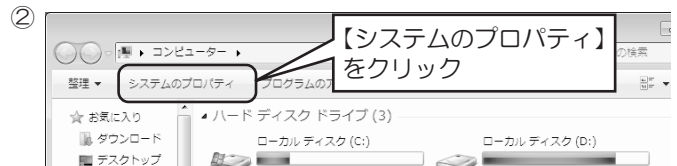
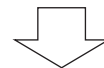
3-1. Windowsの場合

1. デバイスマネージャーを開きます。

Windows 7/Vistaの場合

デバイスマネージャーの開き方

- ① 【スタート】→【コンピューター】をクリック。



【システムのプロパティ】をクリック



- ③ 画面右上の【デバイスマネージャー】をクリック。

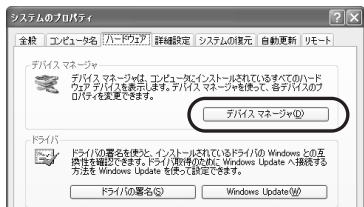
※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリック。

3 -2. Mac OSの場合

Windows XPの場合

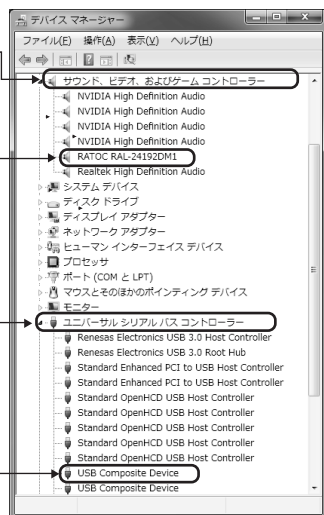
デバイスマネージャの開き方

【スタート】→【コントロールパネル】→【パフォーマンスとメンテナンス】→【システム】をダブルクリック→【ハードウェア】タブをクリック→【デバイスマネージャ】ボタンをクリック。



2. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点をご確認ください。

- ①【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー】をクリックします。
- ②その下に【RATOC RAL-24192DM1】が登録されていることをご確認ください。
- ③【ユニバーサルシリアルバスコントローラー】をダブルクリックします。
- ④その下に【USB Composite Device】が登録されていることをご確認ください。



表示されていない場合は、正常に認識されていません。USBケーブルを一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。

3. 接続されたオーディオ機器およびヘッドホンから、音が聞こえるか確認します。(Windows 7/Vistaのみ)

【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】をクリックします。

4. 【RAL-24192DM1】を右クリックし、テストをクリックします。接続したオーディオ機器およびヘッドホンから音声が再生されているか確認してください。



5. お好みの音楽再生ソフトを起動し、音楽を再生してください。

音楽が聞こえない時は、「5 音が聞こえないときは」をご参照ください。

- ヘッドホンを使用する場合、ボリュームが大きくなっていないか装着前にご確認ください。※本体前面のボリュームはヘッドホン専用のボリュームです。
- LINE OUTに接続されたオーディオ機器のボリューム調節は、オーディオ機器でおこなってください。

●以上でパソコン接続は完了です。ハイレゾ音源 (24bit/192kHz) などを再生する場合は、別紙: **ステップアップガイド** を併せてお読みください。

1. アップルメニューから【システム環境設定】→【サウンド】をクリックしてください。



2. 【出力】タブをクリックし、“RATOC RAL-24192DM1”と表示されていることをご確認ください。

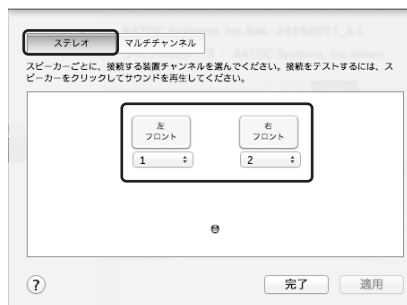
表示されていない場合は、正常に認識されていません。USBケーブルを一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。



3. 接続されたオーディオ機器およびヘッドホンからテスト音源を再生し、音が聞こえるか確認します。【Finder】→【アプリケーション】→【ユーティリティ】のAudioMID設定をクリックします。“RATOC RAL-24192DM1”を選択し、【スピーカーを構成】をクリックします。



4. 【ステレオ】タグの左フロントと右フロントをクリックし、音声が再生されるか確認してください。



5. お好みの音楽再生ソフトを起動し、音楽を再生してください。

音楽が聞こえない時は、「5 音が聞こえないときは」をご参照ください。

- ヘッドホンを使用する場合、ボリュームが大きくなっていないか装着前にご確認ください。※本体前面のボリュームはヘッドホン専用のボリュームです。
- LINE OUTに接続されたオーディオ機器のボリューム調節は、オーディオ機器でおこなってください。

●以上でパソコン接続は完了です。ハイレゾ音源 (24bit/192kHz) などを再生する場合は、別紙: **ステップアップガイド** を併せてお読みください。

4 OSエラー音を転送したくないときは

通常の設定では、すべての音が伝送されます。お使いのOSや再生ソフトによって設定方法は異なりますが、エラー音をパソコン内蔵スピーカーで再生させ、音楽だけを転送させる方法の概略を説明します。

【Windows Media Player 12の場合】

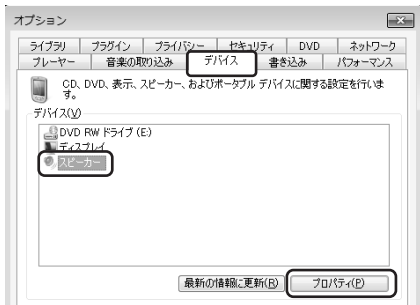
1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】をクリックし、【再生】タブで再生デバイスをパソコン内蔵スピーカーに変更します。



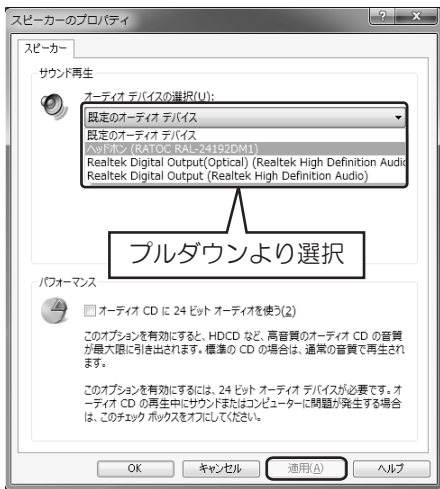
2. Windows Media Playerの【整理】→【オプション】をクリックします。



3. 【デバイス】タブ内の“スピーカー”を選択し、【プロパティ】を開きます。



4. 【オーディオデバイスの選択】を“ヘッドホン(RATOC RAL-24192DM1)”に変更し、【適用】をクリックします。



※iTunesなど個別の出力設定がないアプリケーションの場合は、パソコンのエラー音なども再生されます。

出力設定のないアプリケーションでエラー音などを再生させたくない場合

【スタート】→【コントロールパネル】→【サウンドとオーディオデバイス】→【再生】タブで“RATOC RAL-24192DM1”を“既定のデバイス”に変更後、【サウンド】タブの【サウンド設定】を「サウンドなし」に変更してください。(ただしOS起動音、メール受信音などすべてのサウンドがOFFとなります)

【Mac OSの場合】

1. アップルメニューから【システム環境設定】→【サウンド】をクリックしてください。



2. 【サウンドエフェクト】を指定し、【サウンドエフェクトの再生装置】のタブから“内蔵スピーカー”を選択します。



3. 【出力】を指定し、【サウンドを出力する装置の選択】を“RATOC RAL-24192DM1”に設定します。



5 音が聞こえないときは

マニュアルの手順通りに接続しても音が聞こえないときは、次の点を順にご確認ください。

5-1. 同軸デジタル入力の場合

別紙: ユーザーズマニュアル 接続編 4-2. 「音が聞こえないときは」をご参照ください。

5-2. USB(パソコン)入力の場合

本体の入力切替スイッチがUSBに設定されていますか？

↓
正しく設定されている。

ご使用のオーディオ機器の入力設定が正しく設定(デジタル/アナログの設定)され、ボリュームが適切な音量になっていますか？

↓
設定/ボリュームは適切である。

パソコン上での認識と設定を確認してください。

Windows 7/Vistaの場合
⇒ 5-3.
Windows XPの場合
⇒ 5-4.
Mac OSの場合
⇒ 5-5.

↓
設定に問題はない。

USBケーブルを再接続してください。USBオーディオデバイスと認識された後に再生ソフトで音楽を再生していますか？

↓
正しく認識された後に再生している。

再生ソフトを再起動し、出力先を確認してください。

↓
出力設定に問題はない。

本製品を取り外し、ご使用のパソコンの内蔵スピーカーやヘッドホン出力から音楽が聞こえることをご確認ください。

⇒再生しているときは・・・
サポートセンターへご連絡ください。
修理が必要になる可能性があります。

5-3. Windows 7/Vistaの場合

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】をクリックし、【再生】タブにて“ヘッドホン RAL-24192DM1”が既定のデバイスに設定されているかご確認ください。



他のデバイスが表示されている場合は、“RAL-24192DM1”を右クリックし【既定のデバイスに選択】をクリックして設定を変更してください。

2. 【再生】タブの“ヘッドホン RAL-24192DM1”をダブルクリックし【ヘッドホンのプロパティ】を開きます。【レベル】タブのミュートマークが表示されていると、音が聞こえません。マークをクリックしてミュートマークにしてください。



WASAPIなどカーネルミキサーをバイパスして再生している場合、OSでの音量調節は反映されません。詳しくは別紙: ステップアップガイド 「2カーネルミキサーのバイパス」をご参照ください。

5-4. Windows XPの場合

1. 【スタート】→【コントロールパネル】(→【サウンド、音声、およびオーディオデバイス】)→【サウンドとオーディオデバイス】をダブルクリックし【サウンドとオーディオデバイスのプロパティ】を開いてください。
2. 【オーディオ】タブの“音の再生”にて“RAL-24192DM1”が表示されていることを確認してください。
※Windows XPではOSで音量を調節することができません。



他のデバイスが表示されている場合は、“RAL-24192DM1”を選択して【適用】をクリックし、設定を変更してください。

5-5. Mac OSの場合

1. アップルメニューから【システム環境設定】→【サウンド】をクリックしてください。



2. 【主音量】のスライダーが適当な位置にあるか確認してください。また、【消音】にチェックがないかご確認ください。

